

平成28年度実施 第1回沖縄県青少年の家に係る指定管理者制度運用委員会
(モニタリング検証結果について)

- 1 日時 : 平成28年8月8日(月) 13:00~15:00
- 2 場所 : 県庁13階教育委員室
- 3 出席者 : 沖縄県立青少年の家指定管理者制度運用委員会委員5人
事務局一生涯学習振興課長、管理班長、社会教育班員、管理班員
- 4 検証事項 : 県立青少年の家6施設(名護、糸満、石川、玉城、宮古、石垣)の
平成27年度モニタリング検証結果の検討について
- 5 検証内容 :
 - (1) 指定管理者及び県が実施するモニタリングは適切に行われているか
 - (2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか
 - (3) 利用者アンケートや苦言に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか
- 6 検証方法 : 事務局(生涯学習振興課)によるモニタリング報告の後、質疑応答を行いながら各項目について検証を進めた

■委員1

・指定管理料に修繕費や備品購入費が含まれているのであれば、改築した石川はそのお金が浮くことになる。その分の指定管理料の県への引き上げがあるのか。

□事務局

・指定管理料には修繕費や備品購入費も含まれている。石川について、指定管理料の県への引き上げはない。収支実績の報告から、指定管理料は各所適切に執行されていると考える。

■委員1

・玉城などの老朽化した施設は費用がかさむ。石川と玉城では指定管理料は金額的に同程度である。それでは指定管理者間の中で不公平が生じているのではないか。

□事務局

・指定管理料は、基本的に、各所ごとに過去数年の収支実績を基に算定する仕組みになっている。なので、各所に適した指定管理料が設定されている。収支実績からも不公平が生じているとは考えていない。

■委員2

・修繕や備品の購入については県が負担しているのか。

□事務局

・50万円以上の修繕については、県が負担することになっており、協定書にも記載されて

いる。また、備品についても消防備品など、安全面や施設の性質として必要性の高い物については、県で購入することもある。

■委員 2

・備品を指定管理者が購入した場合の取扱いについてはどうなるのか。

□事務局

・指定管理の更新がない場合は、指定管理者が購入した備品は、指定管理者で引き上げるかどうか県と協議できることになっている。

■委員 3

・各施設の火災保険について、指定管理者が出資している所と、していない所とあるが、どうなっているのか。

□事務局

・火災保険は、各所とも県で建物共済に加入している。その上で各指定管理者の任意により、県の加入する保険以上の厚遇を求める場合に指定管理者で自主加入をしている。

■委員 4

・アンケートの無回答や集計数の少なさが気になる。アンケートの取り方に問題があるのでは。

□事務局

・アンケートの取り方に問題があったかもしれない。アンケート記入時間があまり確保できなかった等の問題で無回答ということが考えられる。事業の実施直後に行うと時間が上手くとれないとの報告も受けている。記入時間の確保について周知徹底を行う。

■委員 3

・アンケートに関しては、本年度から様式を統一し行うこととなるので、今モニタリングで見られる回収率や無回答の問題も解決されるはずである。また、アンケートの取り方は国立に習って統一様式を代表者アンケート、主催・自主事業アンケートの2種類を作成している。代表者アンケートとしているのは、子どもが多い団体等の場合にアンケート結果に信頼度にかけることがあることが想定されるため、国立に習ってそのように定めた。

□事務局

・アンケートの集計結果報告のあり方や、モニタリングでのアンケート結果の落とし込み様式の統一など行っていかなくてはならない。

■委員 5

・施設宿泊研修等の利用にあたり、施設で事前調整を必ず行わなければならないのは困るということだが、今もそうなのか。他県の施設では、当日で調整を行っているところもある。施設利用者は学校関係だけではない。青少年団体については、昼間は直接施設へ行って調整することは難しい。

■委員 3

・引率者として現場の直接確認は大切。例えば、施設の指導員から施設の危険箇所を直接

見回りながら指導を受けるなどのことがあり、施設管理者、利用者双方にとって必要である。遠方については、何日か前に電話等だけのやりとりで、安全面は施設任せというのは問題では。前もって行くことが難しくとも、当日の2時間前に先乗りして打ち合わせを行うなどでもやったほうがいい。

□事務局

・複数団体が入る時など調整が必要になる。施設だけでは判断できない事項のすり合わせが必要になる場合もある。各施設のある程度の裁量で、事前打ち合わせのルールについて弾力性を持たせられる方向で調整したい。

■委員3

・石川と玉城で宿泊指導者研修を同じ日程でやっているのは、合同で計画するのもいいのでは。その他の事業についても各所で合同プログラムを組めたりはできないのか。また、教員の免許更新と抱き合わせで事業を行えたりはできないのか。国立施設では、実際にやっていたりする。

□事務局

・実現可能かどうか検討したい。

7 検証結果：モニタリング検証にあたり、沖縄県立青少年の家の指定管理運営状況について上記の評価を得た。指定管理社及び県が実施するモニタリングについて課題・検討事項を踏まえながら今後も適切に行いたい。

I. 履行確認

1. 維持管理業務

- (1) 清掃
- (2) 保守・点検
- (3) 保安・警備
- (4) 小規模修繕
- (5) 備品購入

2. 運營業務

- (1) 利用実績
 - 1) 利用者数
 - 2) 施設稼働率
- (2) 主催事業
- (3) 自主事業

II. サービスの質の評価

維持管理業務

運營業務

III. サービスの安定性評価

1. 事業収入

- (1) 収入
- (2) 支出

2. 経営分析指標

県立石垣青少年の家 指定管理者 モニタリングシート

I. 履行確認

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈日常清掃〉	職員・環境整備補助員にて館内・植栽の維持管理を行う。	所内巡回確認	適正	現地確認により適切に実施されていた
〈定期清掃〉	体育館清掃ワックスがけ(年1回、平成28年3月24日)・貯水槽清掃(年1回、平成27年8月18日)・塵芥回収(週3回)・害虫駆除(年1回、平成27年8月5日)：業務委託	実績報告書及び現地確認	適正	実施報告書及び現地確認により適切に実施されていた

(2) 保守・点検

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
電気設備点検	月次点検：毎月1回 年次点検：年1回(平成27年11月10日)：業務委託	実施報告書等により確認	適正	実施報告書等により、適切に処理されていた
消防設備保守点検	年2回(平成27年7月14日、平成28年2月11日)：業務委託	消防点検報告書等により確認	適正	昨年度の要改善事項であったが、適切に改善されていた
簡易水道設備点検	点検：年3回 貯水槽清掃年1回(平成27年8月18日)：業務委託	実施報告書等により確認	適正	実施報告書等により、適切に処理されていた
ボイラー設備保守点検	年3回(平成27年6月19日、平成27年10月27日、平成28年3月17日)	実施報告書等により確認	適正	実施報告書等により、適切に処理されていた
昇降機設備保守点検	該当なし	実施報告書等により確認	適正	実施報告書等により、適切に処理されていた

(3) 保安・警備

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
保安警備	毎日17:30～翌日8:30 常駐1名 保安警備委託か宿直担当が対応	警備日誌、契約書等により確認	適正	今後も安全管理を徹底すること

(4) 小規模修繕

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
1件50万円未満の修繕を実施。	計14件(1,420,932円) 消防設備修繕、花苗木小屋修繕、自火報受信機修繕、入口案内看板修繕、フェンス修繕、エアコンガス漏れ修理、他8件	支出簿及び、納品書等で確認	適正	今後も計画的な修繕に努めること

(5) 備品購入

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
当初予算 600千円	計20件(1,484,833円) 監視モニター、カヤック、テント、ガスミニ耕転機、水中ポンプ、チェーンソー、電動ドライバー、その他13件	支出簿、納品書等で確認	適正	今後も計画的な備品購入に努めること

※維持管理業務については、必要に応じて項目を追加して記入して下さい。

2. 運營業務

(1) 利用実績

1) 利用者数

		事業計画	実績	整合性の検証 (計画達成率 %)	業務改善に向けた分析
利用者数	利用者実数	22,000	21,412	97%	概ね計画通りの実績である。
	利用者延べ数	25,000	26,033	104%	

2) 施設稼働率

		事業計画	実績	整合性の検証 (計画達成率 %)	業務改善に向けた分析
開所日数		359	356	99%	全体的に良好な運営となっている。社会教育団体利用度については、追究して欲しい。
利用日数		359	301	84%	
利用率		100%	85%	85%	
利用延べ人数		25,000	26,033	104%	
	学校教育	8,000	8,089	101%	
	社会教育	9,000	3,248	36%	
	その他	8,000	8,696	109%	
施設別利用					全体的に良好な運営となっている。
	宿泊室	3,000	3,887	130%	
	研修室	6,000	6,051	101%	
	体育館 (プレイホール)	10,000	11,593	116%	
	キャンプ場	600	734	122%	
	その他				

(2) 主催事業

事業名	実施期日	対象	事業計画 (定員)	実績 (参加人数)	整合性の検 証(計画達 成率 %)	業務改善に向 けた分析
子ども祭り (子供の健やかな成長を願い、昔の遊び体験、創作活動を通して人間関係の関わりを学ぶ)	5月5日 (火)	一般群民	600	1246	208%	計画を上回る実績となっている。
芋植え&カヌー体験Ⅰ (植える→収穫→食という一連の過程から勤労・カヌー体験を通して逞しく生きる力を養う)	6月4日 (木)	児童・生徒	10	12	120%	計画を上回る実績となっている。
カヌー自然体験 (ラムサール条約に指定された湿地で、生物や植物を観察・学習し、しぜんを大切にすることを養う)	6月20日 (土)	一般群民	25	32	128%	計画を上回る実績となっている。
親子キャンプ (名倉ダム湖辺体験) (自然の中での料理づくり、星空観察、カヌー体験等を通して、親子の絆、逞しく生きる力を養う)	7月25日 (土) ～26日 (日)	親子	20	23	115%	ほぼ計画通りの実績となっている。
夏休み作品づくり (夏休み体験を下に、学習のまとめ、表現創作の活動を通して、二期を乗り越える心意気を培う)	8月23日 (日)	児童・生徒	20	24	120%	計画を上回る実績となっている。
瓦でシーサー作り (沖縄の伝統文化に触れる機会と、創作活動の中から楽しんでオリジナルのシーサーを完成させる)	8月30日 (日)	一般群民	20	36	180%	計画を上回る実績となっている。
遊びリンピック「体験の風をおこそう」運動の元、「遊びリンピック」を開催し、昔遊び体験活動の推進を図る)	9月13日 (日)	子ども	400	211	53%	広報周知等の検討が必要である。
イモの草取り&自然体験 (6月に植えたイモの成長具合を確かめ、草取りをすることにより働く事の苦労を大切さを知る)	10月27日 (火)	児童・生徒	10	17	170%	計画を上回る実績となっている。
カヌー&自然体験 (カヌーを漕ぎながらマングローブの植育状況を学び、自然を大切にすることを養う)	10月12日 (月)	児童・生徒	20	28	140%	計画を上回る実績となっている。
星空コンサート (秋の長夜の一時に、南の島の星空のもと、澄んだ音色と共に心安らぐ時間を提供する)	10月17日 (土)	一般群民	100	134	134%	計画を上回る実績となっている。
バードウォッチングIN竹富町 (八重山に生息する鳥の生態、渡り鳥当について実地調査をし、自然への関心を深める)	11月22日 (日)	児童・生徒 ・一般	60	18	30%	広報周知等の検討が必要である。

門松づくり（新年を迎えるに古来からの伝統文化である門松づくりに、健康・長寿の祈りを込めて挑戦する）	12月27日（日）	一般群民	15	20	133%	計画を上回る実績となっている。
おもと登山（沖縄一高い登山に挑戦し自然観察、今年一年の体力づくりと新年の抱負を誓う）	1月10日（日）	一般群民	25	34	136%	計画を上回る実績となっている。
むーちーづくり（伝統の「むーちー」造りに挑戦。「子どもにできるおやつづくり」として伝統文化を継承する）	1月17日（日）	一般群民	20	23	115%	ほぼ計画通りの実績となっている。
イモ堀&イモ料理Ⅱ（自ら植えたお芋を収穫し、そして自ら調理して食する事で感動体験を共有する）	1月20日（水）	児童・生徒	10	13	130%	計画を上回る実績となっている。
青少年の家まつり&作品展示会（特色あるイベントを工夫し、遊び・体験を通して、自ら学び、考え、創造する力を養う）	2月21日（日）	一般群民	650	573	88%	ほぼ計画通りの実績となっている。
3, 4年宿泊体験（親元を離れた宿泊体験、自然体験を通して強い体と心を養い、高学年になる意識を高める）	3月5日（土） ～6日（日）	小学校3, 4年 児童	20	24	120%	計画を上回る実績となっている。
石垣島サイクリング（サイクリングを通して、島の空、海、風、戦績等自然の躍動を感じる）	3月27日（日）	一般群民	20	10	50%	広報の周知等の工夫が必要である。

(3) 自主事業

事業名	実施期日	対象	事業計画 (定員)	実績 (参加人数)	整合性の検証 (計画達成率 %)	業務改善に向けた分析
皆既月食観望会（月食の観測に焦点を合わせ、解説を聞きながら月へのロマンを湧き立たせる）	4月4日（土）	一般群民	30	82	273%	計画を上回る実績となっている。
野鳥パネル展（野鳥のパネルを展示し、鳥や自然への関心を高める機会とする）	5月5日（火） ～11日（月）	一般群民	80	169	211%	計画を上回る実績となっている。
音楽コンサート（プロのラテンギターと新進気鋭の三線の雰囲気を楽しめる本格的な音楽コンサート）	5月6日（水）	一般群民	40	58	145%	計画を上回る実績となっている。

南十字星観望会（この時期にしか観測できない南十字星を観望し、星空への造詣を深める）	5月15日（金） 16（土）	一般群民	200	144	72%	ほぼ計画通りの実績となっている。
土星&月観察会（八重山星の会との連携事業。天体望遠鏡を利用しての土星や月の観望は感動的である）	6月24日（水）	一般群民	30	12	40%	広報の周知等の工夫が必要である。
石けんづくり（廃油を有効利用した石けん造りに挑戦し、自分にできる「エコ」を考える機会とする）	7月12日（日）	一般群民	20	12	60%	広報の周知等の工夫が必要である。
星まつり記念講演（国立天文台研究員の貴重な講話を通して、二学期を乗り越える心意気を培う）	8月16日（日）	一般群民	80	89	111%	ほぼ計画通りの実績となっている。
初心者三線教室（伝統芸能である三線に触れさせ、沖縄文化の継承・発展に努める）	9月19日（土） 21日（月） 23日（水）	初心者	10	12	120%	計画を上回る実績となっている。
小物づくり（エコクラフトテープを利用してすてきなバックづくりに挑戦する）	9月27日（日）	児童・生徒	15	26	173%	計画を上回る実績となっている。
与那国クラフト（町内全体で自然の素材を利用した玩具、子供づくり等を学習し昔の生活に触れる機会とする）	10月22日 （木）～23日 （金）	児童・生徒	80	中止		—
野底マーペー登山（民話で名高い野底マーペーを登り、昔の生活状況同時に自然の豊かさにふれあう機会とする）	11月1日（日）	児童・生徒・ 一般	20	17	85%	ほぼ計画通りの実績となっている。
ヤラブ岳登山（屋良部半島の山に挑戦し、身体能力の増進と共に、自然観察をし、屋良部半島の文化を学ぶ）	12月20日（日）	一般・生徒	20	15	75%	ほぼ計画通りの実績となっている。
一等星マラソン（石垣島ではすべての一等星を観測することができるのでその機会に星への造詣を深める）	1月15日（日）	会員有志	25	17	68%	広報の周知等の工夫が必要である。
バードウォッチング（八重山に生息する鳥の生態、渡り鳥等について実地調査をし、自然への関心を深める）	2月7日（日）	一般群民	30	27	90%	ほぼ計画通りの実績となっている。

Ⅱ. サービスの質の評価

評価項目	第三者（利用者等）評価	指定管理者 自己評価	業務改善に向けた分析	
維持管理業務	施設内の環境について（安全性、清潔性、空調等）	<p>〈アンケート回答 631 件〉 結果構成比 (1) とても良い 36% (2) 良い 30% (3) 普通 20% (4) 悪い 3% (5) 無回答 11%</p> <p>〈改善要望〉 ・クーラーを自由に使用してほしい ・毛布がほこりっぽい ・部屋にセミのぬげがらがあつた ・滑るところがあつた</p>	<p>職員内で分担を決めて、月一回の安全点検を実施しているほか、利用者から安全面、清潔面の改善要望に関しては、すぐできるものは早い対応を心がけている。「毛布がほこりっぽい」に関しては日干しなどの対応のほか、定期的にクリーニングに出し対応している。「滑るところがある」も定期的にコケなどを除去している。クーラーの使用に関しては期間や時間を決めていくが、熱中症予防の観点から臨機応変に対応している。</p>	<p>施設設備に関しては、県と調整し改善に努めること。特に安全性に関わる所は、早急な対策が望まれる。</p>
運営業務	職員の対応について（マナー、施設の利用方法の説明等）について	<p>〈アンケート回答 計 754件〉 結果構成比 (1) とても良い 79% (2) 普通 17% (3) 悪い 2% (4) 無回答 2%</p> <p>〈改善要望〉 ・もっと話しかけてほしい ・職員によって対応が違う</p>	<p>職員の接客マナーや利用方法の説明に関しては、80%ほどがよいという回答をいただいているが、改善要望では、左記のような意見が見られた。利用者への明るい対応は、職員の基本姿勢なので今後も更に努力をしていきたい。「職員によって対応が違う」は、職員間で密に連絡をとりながら共通の対応を心掛けていきたい。</p>	<p>教育施設の目的でもある人とのつながりと言う点で、職員の対応は、利用満足度を高めることとなります。今後も職員間で取り組んで欲しい。</p>
運営業務	施設設備について（宿泊室、体育館・プレイホール、研修室等）	<p>〈アンケート回答 631 件〉 結果構成比 (1) とても良い 36% (2) 良い 30% (3) 普通 20% (4) 悪い 3% (5) 無回答 11%</p> <p>〈改善要望〉 ・湯船を使わせてほしい ・電気がつかないところがあつた ・シャワーの水圧が弱い ・外灯を増やしてほしい ・体育館のバレーの支柱が古くて使いづらい ・部屋の防虫性をあげてほしい</p>	<p>「湯船を使わせてほしい」は予算や衛生面から課題ではあるが、毎年何件かの要望がある。検討していきたい。「電気がつかない」などの故障や消耗品の交換についてはこまめに点検して、即対応していきたい。老朽化などで新しく買い替える高額の物件に関しては、職員内で検討し対応していきたい。「部屋の防虫性をあげてほしい」は自然に囲まれた場所なので、防ぎきれないところもあるが、利用前の部屋や網戸の点検などを継続していきたい。</p>	<p>施設の老朽化による課題は、県と連携していくと共に利用者の要望等で対策できるところは、こまめに対処すること。</p>

評価項目	第三者（利用者等）評価	指定管理者 自己評価	業務改善に向けた分析
運 営 業 務	主催事業、 自主事業に ついて	多くの事業で利用者からは概ね良いという評価をいただいた。今後も評価はそのままに事業の広報やプログラム、展示の方法などを改善していきたい。天候によっては「星が見えない、鳥が見えない」など不満が避けられないところもあるが、室内の講義を充実させるなどの対応をしていきたい。登山などの長い列ができる場合、「ガイドの声が聞こえない」との意見があった。列の合間にガイドを入れてハンズフリーの拡声器を用いた方法を試行している。	今後とも利用者の声をひろいながら、また、登山等での安全対策を怠ることなく事業を推進して欲しい。
総合評価	<アンケート回答 100 件> 結果構成比 (1) とても良い 51% (2) 良い 27% (3) 普通 19% (4) 悪い 2% (5) 無回答 1%	総合評価でも利用者から概ね良いという回答が得られた。無事故で一年を終えることができたのは、普段からの安全意識心がけの成果と思われる。今後も安全面には注意をしながら、社会教育施設として利用者に満足いただけるよう対応していきたい。	全体的に適切な対応ができています。今後もサービス向上を目指し、職員ミーティング等を密に取り、工夫改善を行って欲しい。

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定して下さい。

Ⅲ. サービスの安定性評価

1. 事業収入

(1) 収入

(単位：千円)

収入項目		事業計画	実績	対計画比 (%)	備考
利用料金収入	計	1,600	1,749	109%	
	宿泊室	1,000	1,156	116%	
	キャンプ場	50	51	102%	
	研修室及び訓練室	250	244	98%	
	プレイホール	300	298	99%	
指定管理料		34,819	34,819	100%	
主催事業収入		120	217	181%	
自主事業収入		20	32	160%	
事業収入その他		50	530	1060%	薪代、シーツ代収入
その他収入（自販機電気料等）		40	113	283%	
合計（A）		36,649	37,460	102%	
〈業務改善に向けた分析〉					
概ね計画通りの実績合計となっている。今後も計画に沿って事業を推進していくこと。					

(2) 支出

(単位：千円)

支出項目		事業計画	実績	対計画比 (%)	備考
人件費		19,650	19,079	97%	
報償費		60	40	67%	
旅費		450	355	79%	
需用費		6,977	6,478	93%	
	消耗品費	1,677	1,505	90%	新聞図書費含む
	燃料費	400	382	96%	
	印刷製本費	0	0	—	
	光熱水費	3,400	3,170	93%	
	修繕料	1,500	1,421	95%	
役務費		510	695	136%	
	通信運搬費	250	183	73%	
	手数料	80	306	383%	
	損害賠償保険料	120	133	111%	
	火災保険料	20	33	165%	
	自動車保険料	40	40	100%	
委託料		3,500	3,931	112%	
使用料及び賃借料		80	153	191%	
備品購入費		600	1,485	248%	
負担金		20	467	2335%	リネン費(シーツ代)含む
公課費		2,078	1,784	86%	
合計		33,925	34,467	102%	
〈業務改善に向けた分析〉					
支出合計の対計画比は102%(実績+542千円)であり100%を超える実績となっている。今後、備品購入や修繕を所管課と連携し、計画的に行うこととする。					

2. 経営分析指標

評価指標	事業計画	実績	対計画比 (%)	備考
事業収支 (収入(A)-支出(B))(単位:千円)	2,724	2,993	110%	
利用料金比率 (利用料金収入/収入(A))	5%	5%	108%	
人件費比率 (人件費/支出(B))	58%	55%	96%	
人件費比率 (人件費/収入(A))	54%	51%	95%	
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出(B))	10%	11%	111%	
外部委託費比率 (外部委託費合計/収入(A))	10%	10%	110%	
利用者あたり管理コスト(※) (支出(B)/利用者数)(単位:円)	1,357	1,324	98%	
利用者あたり自治体負担コスト(※) (指定管理料/利用者数)(単位:円)	1,393	1,337	96%	
〈業務改善に向けた分析〉				
事業収支は+2,993千円で、指定管理料からの備品の修繕、積極的な購入等により、昨年の+4,661からさらに圧縮されており、本来の支出執行のあり方に近づいている。今後とも所管課との連携のうえ、適正かつ計画的な執行に努めさせる。				

※経営分析指標の評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入-支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。
利用料金比率	利用料金収入/収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。
人件費比率	人件費/支出	支出の中で人件費が減らされすぎていないか、それにより効率が低下していないかを確認する。
人件費比率	人件費/収入	収入の中に占める人件費がどの程度かを確認する。
外部委託費比率	外部委託費合計/支出	外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。
外部委託費比率	外部委託費合計/収入	外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。
利用者あたり管理コスト	支出/利用者数	1人あたりの利用者に対してどれだけのコストが費やされているか。コストが少なくても利用者が少ない、あるいは利用者は多いがコストがかかっているなど、前年度との比較、類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料/利用者数	1人あたりの利用者に対してどれだけの県による財政負担がなされているか。前年度との比較、類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。